

学びのデザインシート（授業前）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【作業学習／委託作業】

1. 対象（実施を想定する学校・児童生徒の実態の概要）

本校は比較的軽度の知的障害を有する生徒を対象としている高等部単独の特別支援学校である。本校卒業後の進路としてはほとんどの生徒が一般企業への就労を希望しており、職業自立をして充実した生活を送るための学習に日々取り組んでいる。

対象は、1学年18名（男子13名、女子5名）の集団である。一度に複数の指示を理解して行動することが苦手な生徒、長時間の作業では集中力が途切れてしまう生徒など実態に差はあるが、ほとんどの生徒が、同じ内容を繰り返し取り組むことで、正確に活動に取り組むことができる。4月から、近隣企業から業務委託を受けている作業に取り組む中で、企業からの手順の指示を守りながら道具を適切に使用し、準備や片付けを友達と協力して行うことや、正しい姿勢を保って作業に取り組むことを目標に取り組んできた。全体的には、立って作業を続ける体力面や持続力に成長が見られている。

6月にはグループごとに近隣企業への実習を経験した。現場で働く社員の方々が手際よく作業している姿を見たことで、「自分も、もっと素早く、正確に作業できるようになりたい。」と今後の目標を立てている生徒が多い。10月に予定されている2回目の産業現場等における実習に向け、学習に取り組んでいる。

2. 単元名 「作業学習（委託作業）…ベアリング梱包作業（N社）」（全25時間程度※校内実習除く）

3. 単元で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	○身だしなみや姿勢（両足重心）の大切さが分かる。 ○報告・連絡・相談のタイミングや仕方が分かる。 ○注意点や手順、納品の仕方を覚えることができる。
思考力，判断力，表現力等	○工具や機具、治具などの使用上の注意点を覚え、正しく安全に扱うことができる。 ○机上の整理や作業工程の流れなどを考え、道具や資材を配置することができる。 ○指示書を確認しながら正確に作業を行ったり、良否判断をしたりすることができる。 ○不安や違和感を感じたときには、相談や報告をすることができる。
学びに向かう力，人間性等	○納期に間に合うように、効率よく作業を進めることができる。 ○準備や片付けのときに状況を確認して自分からこう行動することができる。 ○仲間と声を掛け合いながら作業に取り組むことができる。

4. 本時の目標

知識及び技能	・仕事場に適した言葉遣いで話をするすることができる。
思考力，判断力，表現力等	・作業工程を考え、資材や箱を適切に配置し、作業に取り組んでいる
学びに向かう力，人間性等	・納期を意識して、決められた時間集中して取り組んでいる。

5. 授業展開【 本時 】

解決したい課題や問い

素早く正確に作業するためには、どのように物を配置すれば良いのだろう？
もっと作業がやりやすくなる方法はあるのだろうか？

考えるための材料

材料A	材料B	材料C	材料D
解決したい問いをホワイトボードへ提示する。	作業工程の項目	机上の配置例の写真	他の友達の机上、作業をしている様子
想定される活動	想定される活動	想定される活動	想定される活動
自分がいつも行っている作業を思い出し、作業の正確さや素早さを目標にしていることを意識する。	どの作業工程で取り組むかを整理して思考する。	自分の道具の配置と相違点や同じ点に気付く。	自分と他者の作業の進め方の相違点や同じ点に気付く。 より良い作業について思考する。

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

- ①朝礼後、ペアを作り、互いの作業を観察する。教師は必要に応じて、「机上の物の配置について」「手の動かし方」など、話し合いのポイントを生徒に提示する。（1分間ずつ）「Aくんは、作業のスピードが速いな。自分のやり方と違うところはどこだろう。」
- ②相手を非難するような評価はしない約束、会社から指示されている手順は変えないことを確認する。友達の作業を観察して気付いたことを伝え合い、より良い作業の進め方を話し合う。（2分間）「箱はこの順番で折ったほうが、早くできると思うよ。」「ベアリングの向きを先に揃えてから箱詰めする方法があるんだね。どっちがミスなくできるだろう？」
- ③代表で1～2名が、今回話し合ったことを全体へ提案をする。（1～2分間）
「〇〇さんの箱の置き方が良いと思いました。理由は、こんな風に作業すると、両手を使って箱詰めがしやすかったからです。」「自分もやってみよう。」「本当にそうだろうか？」
- ④作業（2時間30分）
「まずは、いつも通りのやりかたでやって比べてみよう。」
「テープ貼りの時は、A君のような籠の配置の方がやりやすいな。」
「ミスのないように気を付けよう。」

※10月から毎回の作業の初め（朝礼後）に、①～④の活動を行う。

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

作業の工程ごとに、物の配置を変えると良いのかな？
友達のラベル貼りのやり方を試してみたら、前よりも生産数を増やすことができた。
やっぱり今の自分のやり方が一番やりやすいな。
次回は、もっと手の動かし方を工夫して、早く正確な作業ができるようになりたい。